

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-092

補助事業名 平成27年度 親と子の交流ふれあい交流活動 補助事業

補助事業者名 (公社) 国際演劇協会日本センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

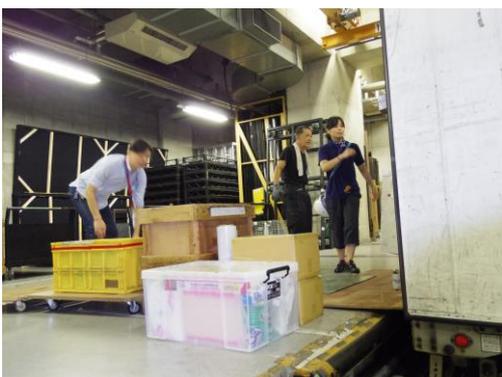
若い世代の人たちがヒロシマ・ナガサキの惨禍を迫体験し、平和といのちの尊さを知ること、平和構築への想像力を養い、二世帯および三世帯間での戦争と平和に関する対話を促す。また、朗読劇の上演が日本各地に広がっていくとともに、海外の劇場でも上演され、世界の人にヒロシマ・ナガサキのことをもっと知ってもらえるようになることを目指す。

(2) 実施内容

朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ』(<http://iti-japan.or.jp/summer/>) 昭和20年8月の広島・長崎での原爆体験を語った母たちの手記をまとめた朗読劇『この子たちの夏 1945・ヒロシマ・ナガサキ』を上演した。当事者たちの生の証言を基に構成された本作品は観る人の心に平和の尊さ、生きることの素晴らしさを訴え、強い印象を与え続けてきた。日本が終戦を迎えた8月に繰り返しこの作品の上演を行うことで、祖父母から孫世代まで三世帯にわたる記憶の継承と、戦争体験を語り継ぐための貴重な機会を提供する。

8月7日 (仕込み日)

道具類を積んだ2tトラック到着、仕込み打合せ、搬入、仕込み、稽古、全体ミーティング



(別紙5)



音響班仕込み



照明・舞台班仕込み



映像・舞台班仕込み



俳優を交えた短歌・俳句朗読の中高生たちの稽古風景。演出部の指導を受ける

(別紙5)



出演者・技術スタッフ・制作が集まる全体ミーティング（左）と同時通訳のテクニカルチェック（右）

8月8日（公演日①）13時開演



開場前、会場設営。劇場前の様子



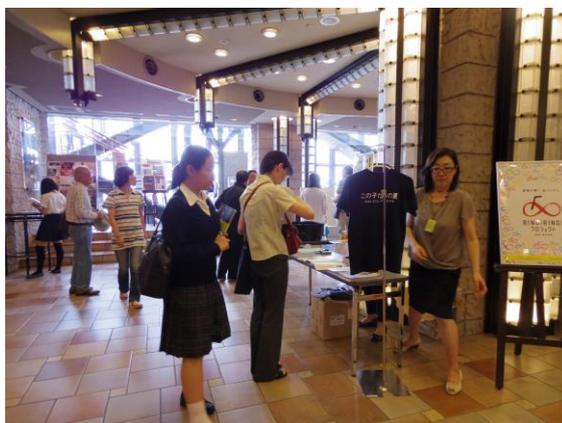
開場前、会場設営。ロビーの様子



←同時通訳者スタンバイ



開演前



(別紙5)



8月8日 (公演日①) 17時開演



開演前



終演後

8月9日 (公演日②) 14時開演→撤去



開演前

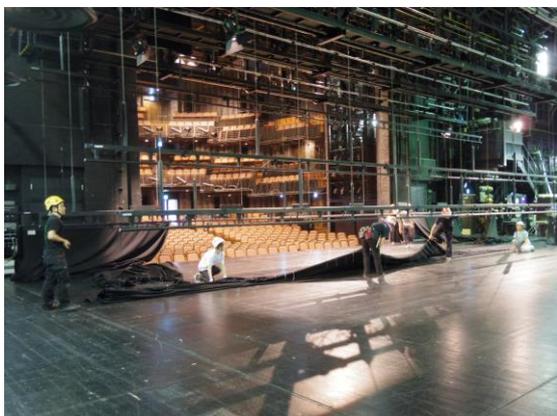


(別紙5)

終演後、出演した高校生たちと  
応援に駆けつけた先生方



撤去と搬出



←終演後、下重暁子氏（作家、  
初代 JKA 会長）と大林宣彦氏  
（映画監督）による対談を行っ  
た。

(別紙5)

(1) 補助事業により作成したもの

『この子たちの夏 1945・ヒロシマ・ナガサキ』パンフレット  
表紙(左)と見開き頁(右)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人国際演劇協会日本センター  
(コクサイエンゲキキョウカイニホンセンター)

住所： 〒151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂内

代表者： 会長 永井多恵子 (ナガイタエコ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 常務理事・事務局長 曾田修司 (ソタシュウジ)

電話番号： 03-3478-2189

F A X： 03-3478-7218

E-mail： mail@iti-j.org

U R L： <http://iti-japan.or.jp/>